

質問回答

平成 25 年 8 月 26 日

「チュニジア国国営テレビ放送センター事業フェーズ 調達実施支援調査」

(公示日:平成 25 年 8 月 14 日 / 公示番号:4)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

| 通番号 | 当該頁項目 | 質問 | 回答 |
|-----|--|---|---|
| 1 | 12 頁、3. 業務の目的および4. 業務の範囲 | <ul style="list-style-type: none">本調査業務は3.業務の目的ならびに4.業務の範囲に記載されている通り、先方政府実施機関(TT)が主体となって作成する入札図書について、技術的かつSTEPの調達条件の観点からその作成業務の支援を行うものであり、成果品の作成はあくまでTT側の作業と理解いたします。この考え方でよろしいでしょうか？ | 入札図書の作成主体はTTであり、業務指示書に記載のとおり、本業務の目的は入札図書の作成支援です。 |
| 2 | 12 頁、5. 業務実施上の留意事項 (1) 入札図書作成に際しての留意点、 3) | <ul style="list-style-type: none">STEPの調達条件、原産地ルール等について、貴機構は本年4月17日に新しい運用ルールを公表していますが、「平成25年度4月1日以降に事前通報が行われた案件を対象とする」と、条件付きの記述となっています。当該新運用ルールに係る資料は本公示の配布資料に含まれていることから、本調査案件に適用されると理解しますがよろしいでしょうか？ | 本事業は、新しい運用ルールの対象外です。ご指摘ありがとうございます。 |
| 3 | 13 頁、6. 業務の内容 (1) 国内準備期間の業務、 1) | <ul style="list-style-type: none">国内準備期間中に把握すべき審査 M/D、L/A、フェーズ I SAPMAN 報告書等は業務開始前にそのコピーが貴機構より貸与されるも | 審査 M/D、L/A、SAPMAN 報告書は業務開始前に写しをお渡しします。また、全て英語で作成しております。 |

| | | | |
|---|---|--|---|
| | | のと理解していますが、これらの資料のうち仏語の資料は何頁相当ありますでしょうか？ | |
| 4 | 13 頁、6. 業務の内容 (3) 帰国後整理期間の業務、 1) | <ul style="list-style-type: none"> ・「入札図書(案)の内容が TT によって確認された後、仏語で最終化作業を行う」とありますが、入札図書(案)全体を策定し、仏語で最終化作業を行うのはあくまで TT 側の作業と理解いたします。したがって、本項目は、「最終的に TT 側で承認し、作成された入札図書は STEP 調達条件を満足していることを確認する」と読み替えたいと思いますがよろしいでしょうか？ | 「最終化作業」とは、入札図書(案)(仏語)の最終化作業を指します。本業務後に、TTが入札図書(案)を最終化し、入札を実施することを想定しています。 |
| 5 | 13 頁、6. 業務の内容 (2) 現地派遣期間の業務、 7)、 (3) 帰国後整理期間、2)および 14 頁、7. 成果品等 (3) (4) | <ul style="list-style-type: none"> ・成果品の名称が準備調査報告書となっていること、ならびに要約を含むという指示に違和感を覚えます。調査期間が短く、現地調査完了時にはその仏語案を提出しなければならないことから、内容は限定的なものとなります。ご指示の準備調査報告書は機材リストも含めて 30 頁程度のもと考えていますが、当該報告書の具体的な構成ならびにボリュームについてどのようにお考えをお持ちでしょうか？その概要をお聞かせください。 | <p>想定している内容は以下のとおりですが、技術的な部分を含めてプロポーザルにてご提案ください。ページ数については、調査指示内容を満たしていれば特に制限はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札書類作成の準備現状について ・対象となるスタジオでの TT の活動計画 ・その活動に必要な機材の概要 ・機材の詳細 ・入札図書(案) |
| 6 | 通訳の派遣について | <ul style="list-style-type: none"> ・本調査に不可欠な通訳については原則として現地雇用を考えておりますが、可能な稼働期間が極めて限定的で、最終的に決定する現地調査期間によっては、現地雇用が不可能となる可能性もあります。場合によって通訳を日 | 日本からの通訳の同行は想定していません。現地で備上するようお願いいたします。 |

| | | | |
|---|-----------------|---|---|
| | | 本から同行させることは可能でしょうか？ | |
| 7 | チュニジア行きのルートについて | <ul style="list-style-type: none"> ・ チュニジアへの入国はヨーロッパ経由する北回りと中東経由でアフリカを横断する南回りとありますが、より安全なルートを選びたいと思います。ルート設定に規定はありますか？ | 安全面ではどちらも大きな差異がありませんので、より安価な経路をご選択ください。 |

以上